

2011年度 決算説明会

2012年5月18日

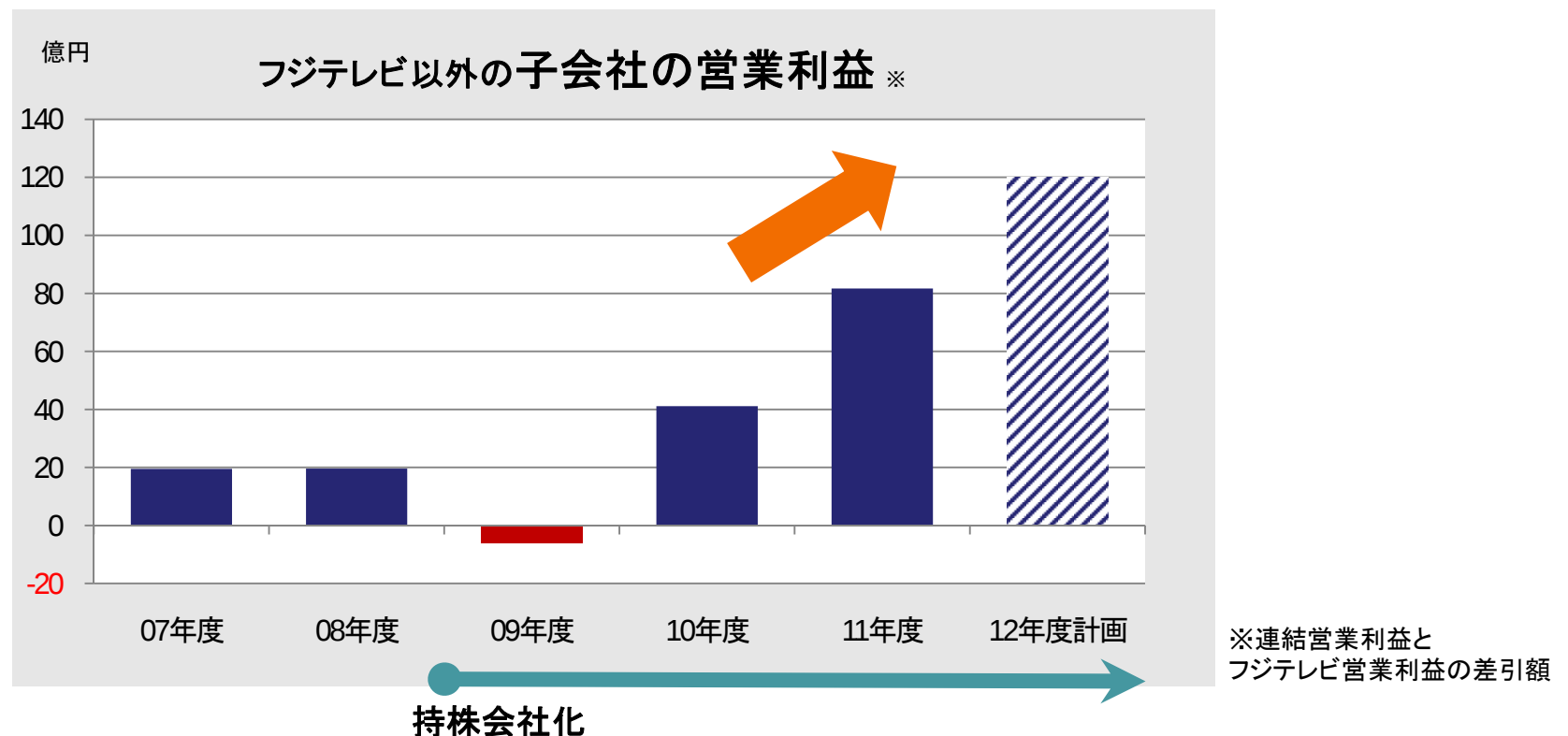
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

グループの業績と 経営ビジョン

持株会社への移行により子会社が大きく成長

- ガバナンスを強化、コスト構造も適正化
- 中核のフジテレビが各事業と連携
- 2012年度は一段の成長を見込む



【生活情報事業】赤字体質から黒字へ転換

■ディノスとセシールが大きく改善

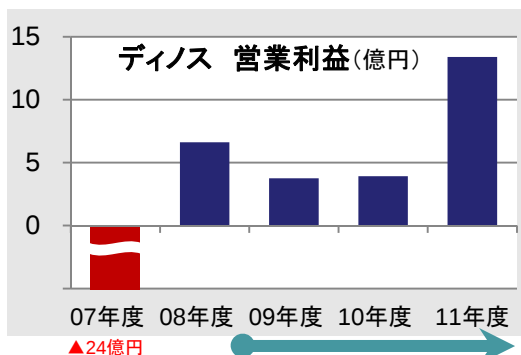
■共通機能の統合で効率化、費用削減

※共通機能:コールセンター運営、購買、商品発送等

■2012年度も前年につづき増収増益へ

ディノス

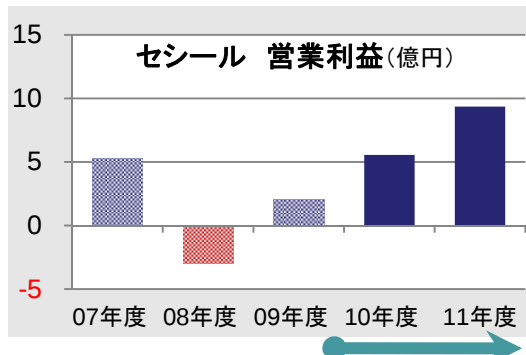
- ◆商品企画力の向上でヒット商品
- ◆費用削減で収益体質が改善



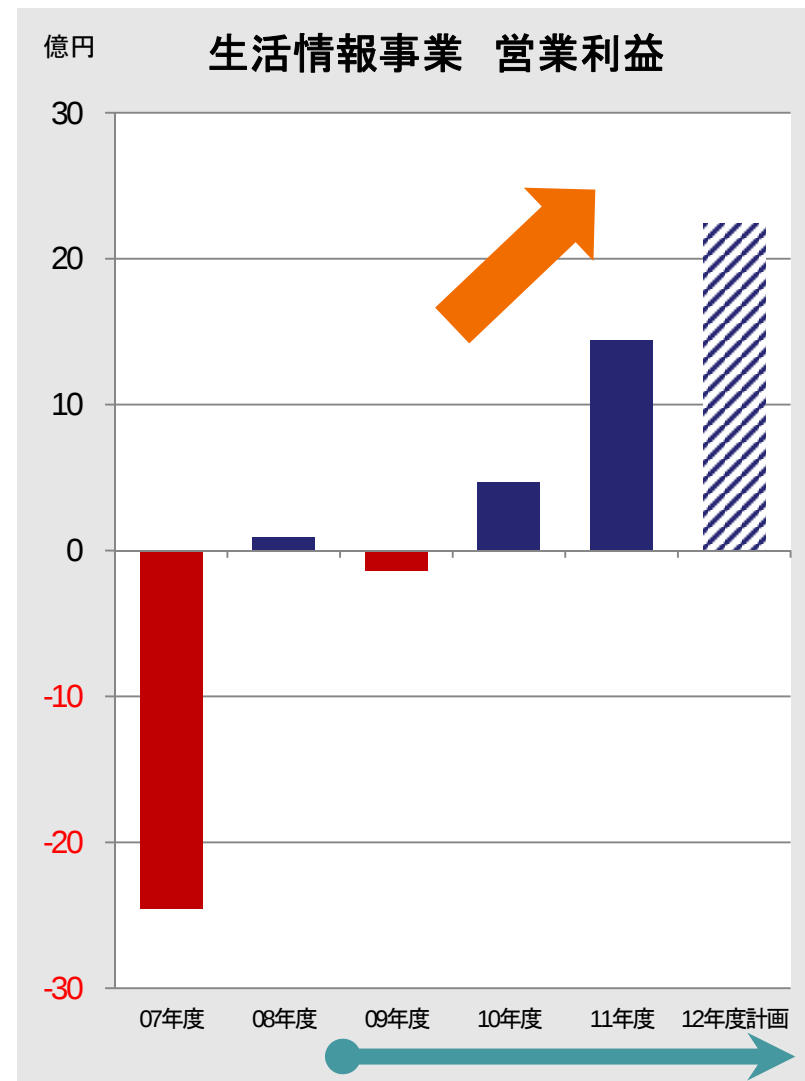
持株会社化

セシール

- ◆積極的な販売促進で増収
- ◆独自の高性能商品がヒット



連結子会社化



持株会社化

【映像音楽事業】 安定した高収益体質に

■費用コントロールを徹底し、業績が安定

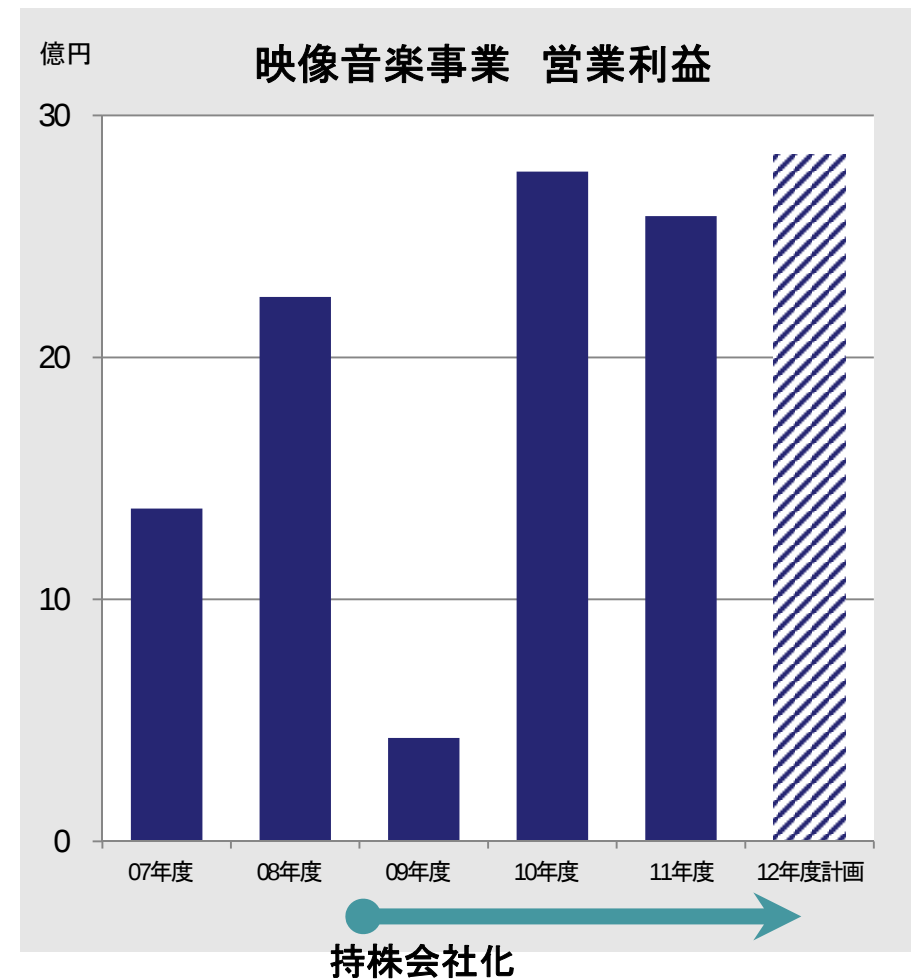
■フジテレビとの連携を強化

ポニーキャニオン

- ◆作品ごとに厳しく費用を管理、利益を積み上げ
- ◆アニメや海外ドラマ等の制作段階から参画、将来の鉱脈を開拓し業績上積みを目指す

フジパシフィック音楽出版

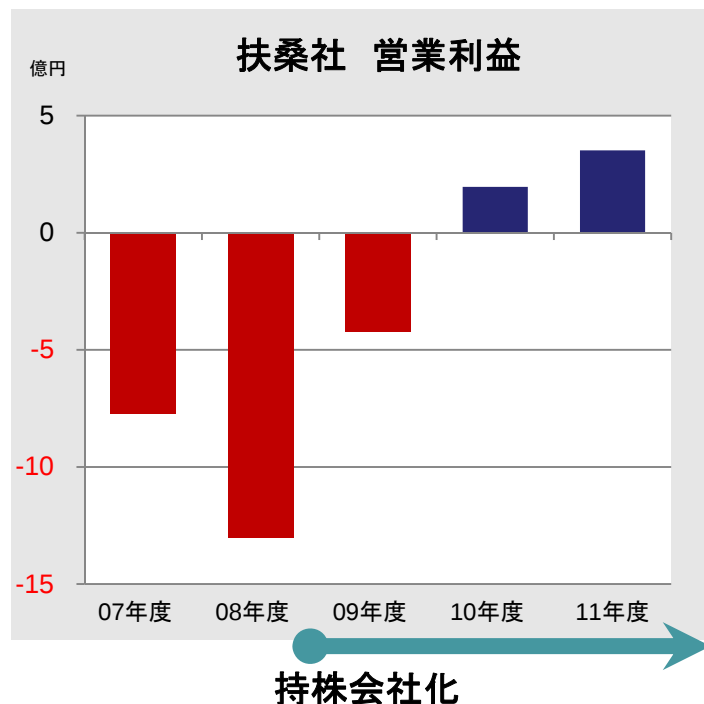
- ◆フジテレビと番組の使用楽曲で連携
- ◆国内外のアーティストを発掘・育成、ヒットを生み、業績に貢献



扶桑社

(その他事業)

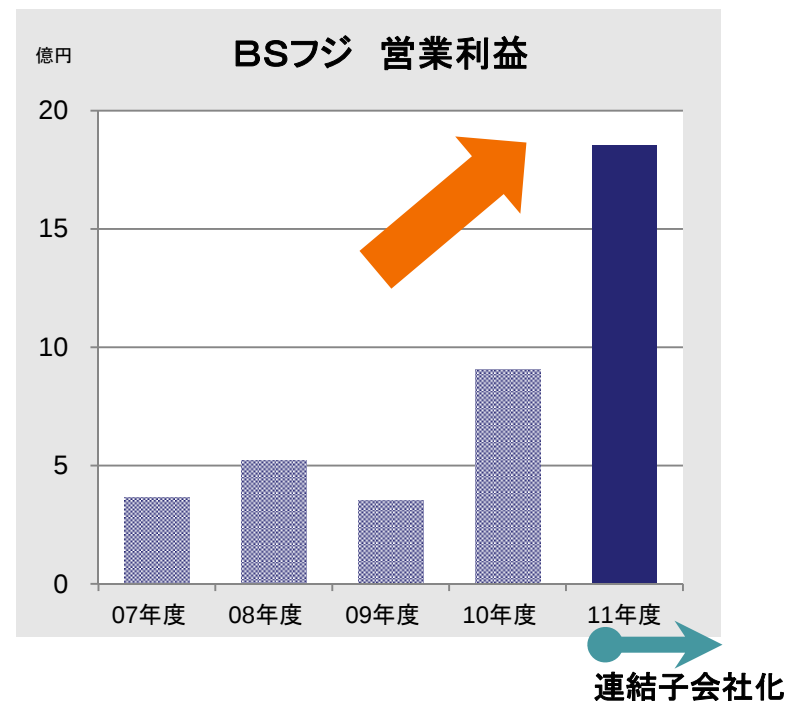
- ◆出版業界の厳しい環境の中、フジテレビ関連書籍等で強みを発揮
- ◆ガバナンスを徹底、費用全般を削減し、黒字が定着



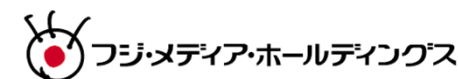
BSフジ

(放送事業)

- ◆視聴可能世帯が増加し媒体価値向上
- ◆成長するBS局を最適なタイミングで子会社に取り込み
- ◆主力番組「プライムニュース」が牽引、広告主の注目を集めセールス好調



サンケイビルを子会社化 都市開発事業を新設



連結収益を拡大・安定化

- ◆サンケイビルの利益が連結業績に大きく貢献
- ◆景気に左右されにくい安定した収益構造に

グループ各社との連携

- ◆グループ各社の保有不動産を有効活用
- ◆2012年4月開業の「ダイバーシティ東京」に参画
- ◆台場の特区プロジェクトにおける重要なプレイヤーとして期待



ダイバーシティ東京

サンケイビル(単体) 業績推移 (百万円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
売上高	22,972	25,551	26,516	33,007
営業利益	2,101	3,869	4,864	5,339

日本政府

国際戦略総合特区

2011年12月、全国7地域を指定

「規制・制度の特例」

「税制・財政・金融措置」

などで支援

東京都

アジアヘッドクォーター特区

「経済効果14兆6千億円」

「雇用誘発効果93万人」

と試算(東京都)

東京DAIBA・MICE/IR

国際観光戦略総合特区共同提案

【共同提案者】 フジテレビジョン(代表)、三井不動産、鹿島建設、日本財団

Meeting

会議・セミナー

Incentive

報奨・研修旅行

Convention

国際・学会会議等

Event/Exhibition

展示会・見本市

Integrated **R**esort

複合観光施設

台場地区を開発してきた
フジテレビ



トップ企業が集結する
一大プロジェクト



台場地区の
優れた立地条件

1997年 本社ビル完成、移転

2003年 第一回「お台場冒険王」

2007年 湾岸スタジオ完成

2012年 「ダイバーシティ東京」開業
(サンケイビルが参画)

◆制作力、発信力、集客力が
生み出す一大ムーブメント

◆現在では、臨海副都心は年間
4,800万人が訪れるスポットに

◆最大手のデベロッパー・建設
会社など、大規模な都市開発に
秀でた一流パートナーと連携



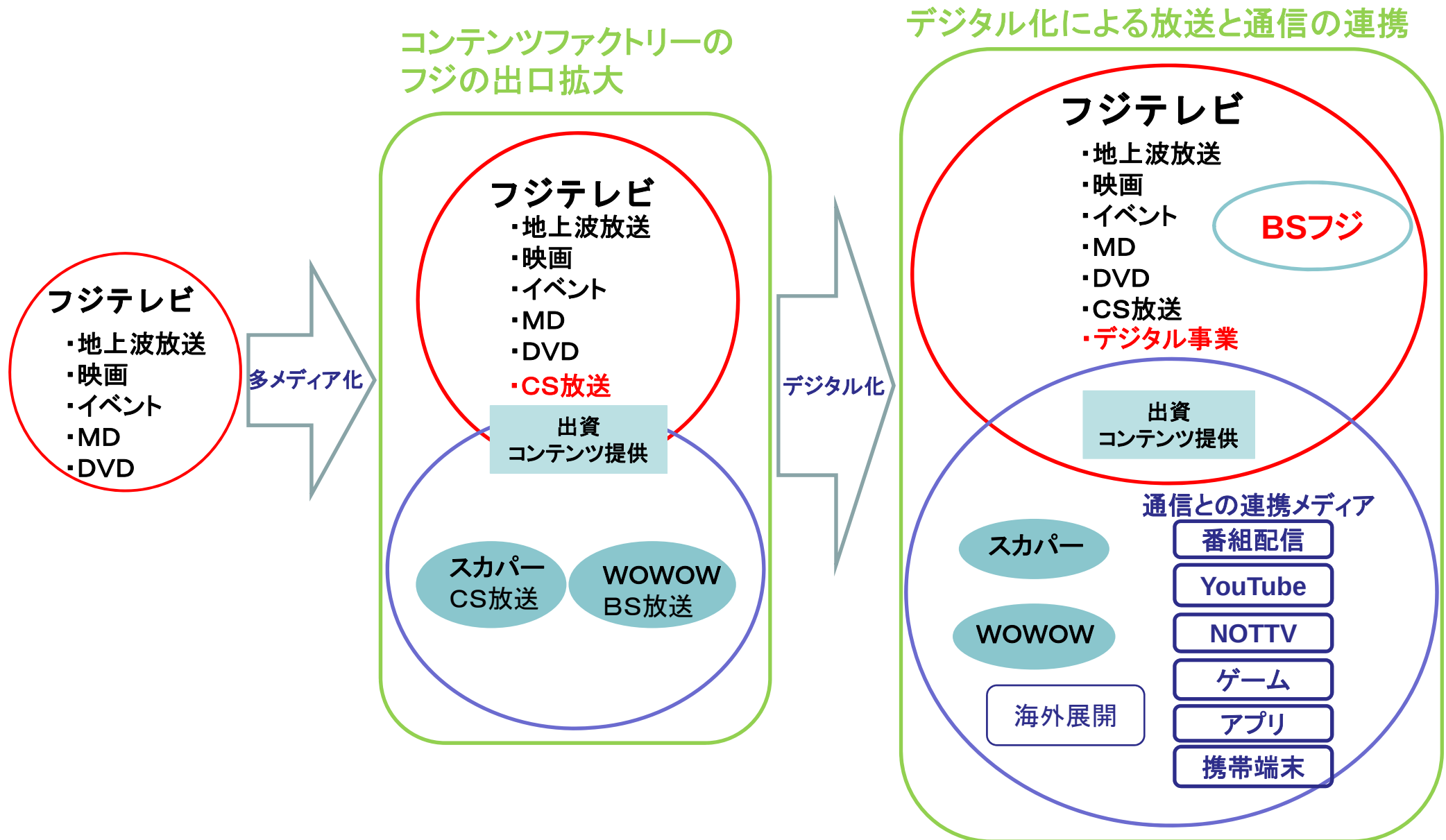
◆羽田・成田空港、
都心へ好アクセス

◆大規模な開発が
可能な広大な土地

◆整備された魅力的な
街並みと防災拠点

➡ 世界最高レベルの複合型エンターテイメントゾーンの創出

新たなメディアの台頭はチャンス



2011年度の業績

2011年度 業績概要

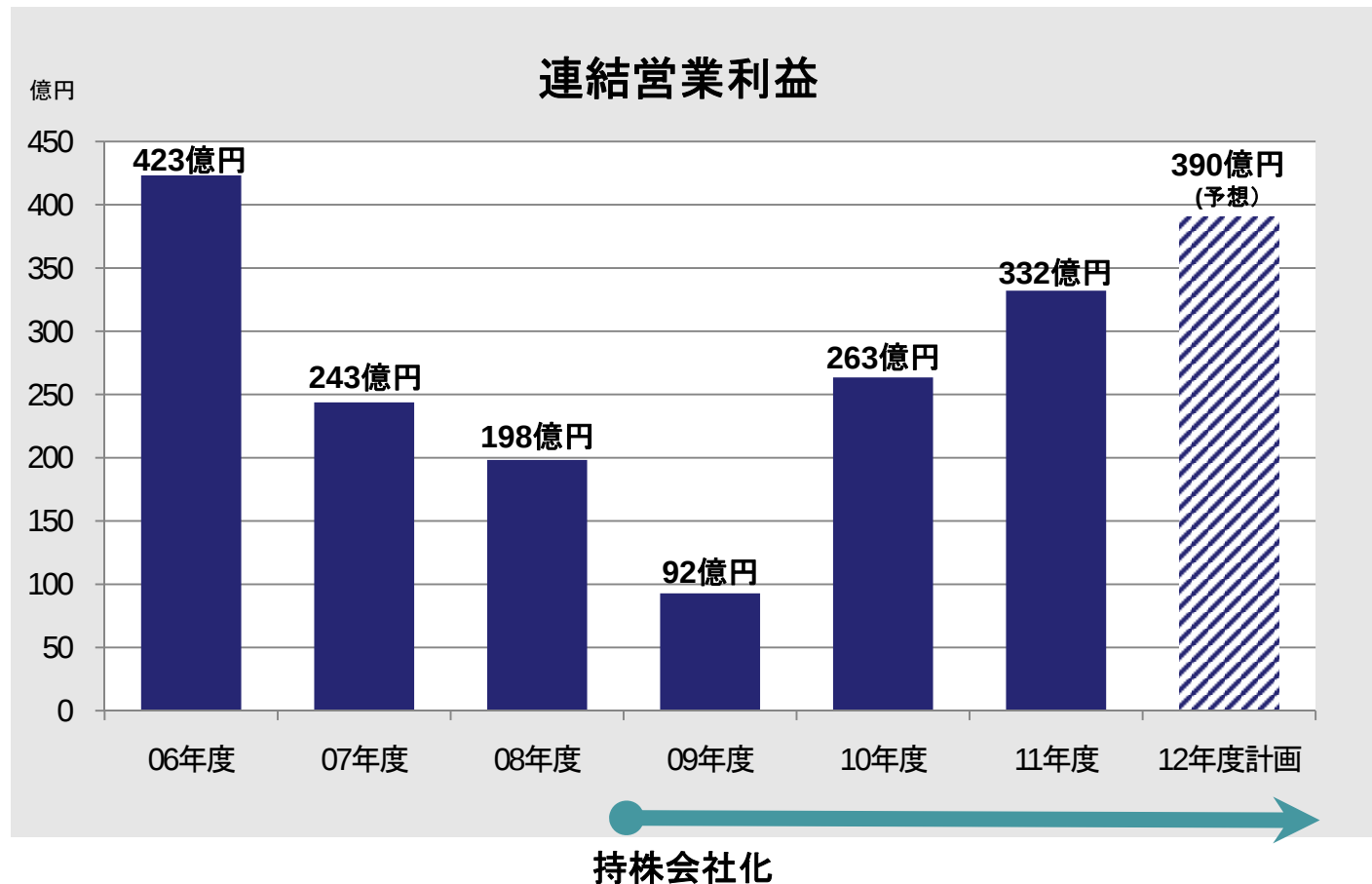
(単位:百万円)

連結	第4四半期			通期		
	2012年 1月～3月	2011年 1月～3月	増減率	2011年度	2010年度	増減率
売上高	145,124	141,749	2.4%	593,645	589,671	0.7%
営業利益	4,570	2,679	70.6%	33,204	26,351	26.0%
経常利益	22,489	2,394	839.0%	52,320	29,460	77.6%
当期純利益	44,615	▲3,581	—	61,213	10,002	512.0%

※経常利益には①営業外収益:系列局株式取得に係る負ののれん(155億円)、当期純利益には②特別損益:サンケイビル株式取得に係る負ののれん等(250億円)が含まれます。

フジテレビ	第4四半期			通期		
	2012年 1月～3月	2011年 1月～3月	増減率	2011年度	2010年度	増減率
売上高	80,524	77,903	3.4%	329,013	328,264	0.2%
営業利益	4,900	4,143	18.3%	25,039	22,241	12.6%
経常利益	5,004	4,172	19.9%	25,666	22,610	13.5%
当期純利益	2,147	2,149	▲0.1%	12,451	12,103	2.9%

2011年度 連結営業利益 300億円台を回復



① 主要子会社が業績に貢献

② 放送収入が回復、通期で増収

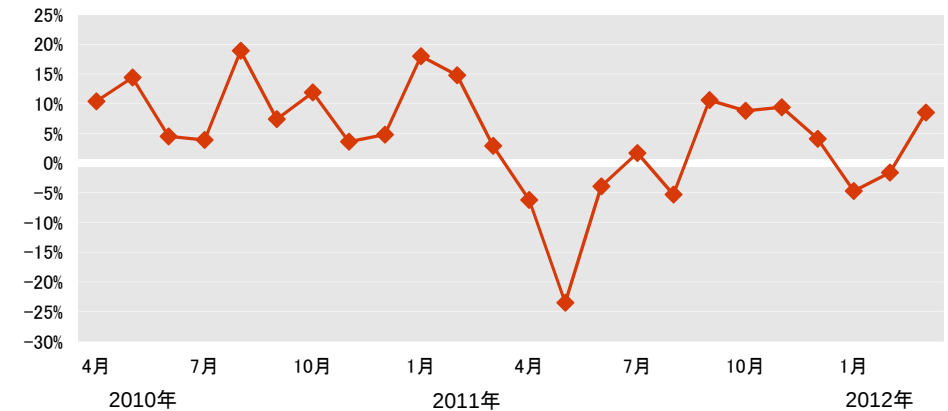
③ 収益体質を大幅に強化

【フジテレビ】 スポット、タイムともに増収

スポット収入

- ◆震災の影響から早期に回復し、通期で2年連続の増収
- ◆2012年度も足元は好調、第1四半期は前年比で大幅増収へ

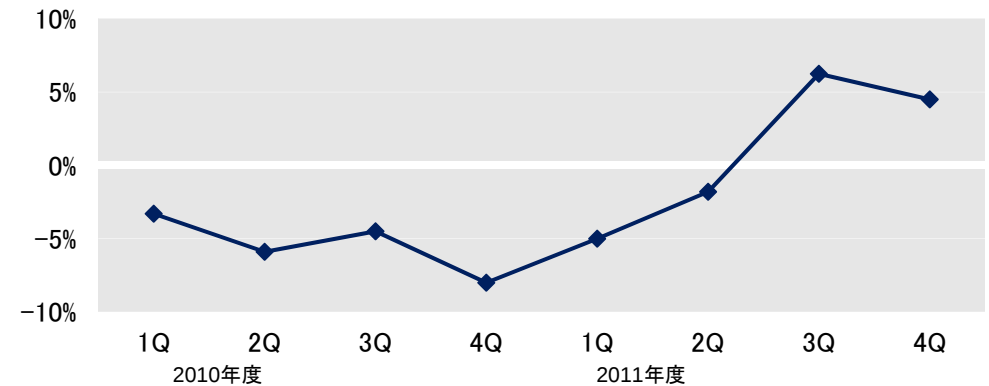
スポット収入 前年同月比推移



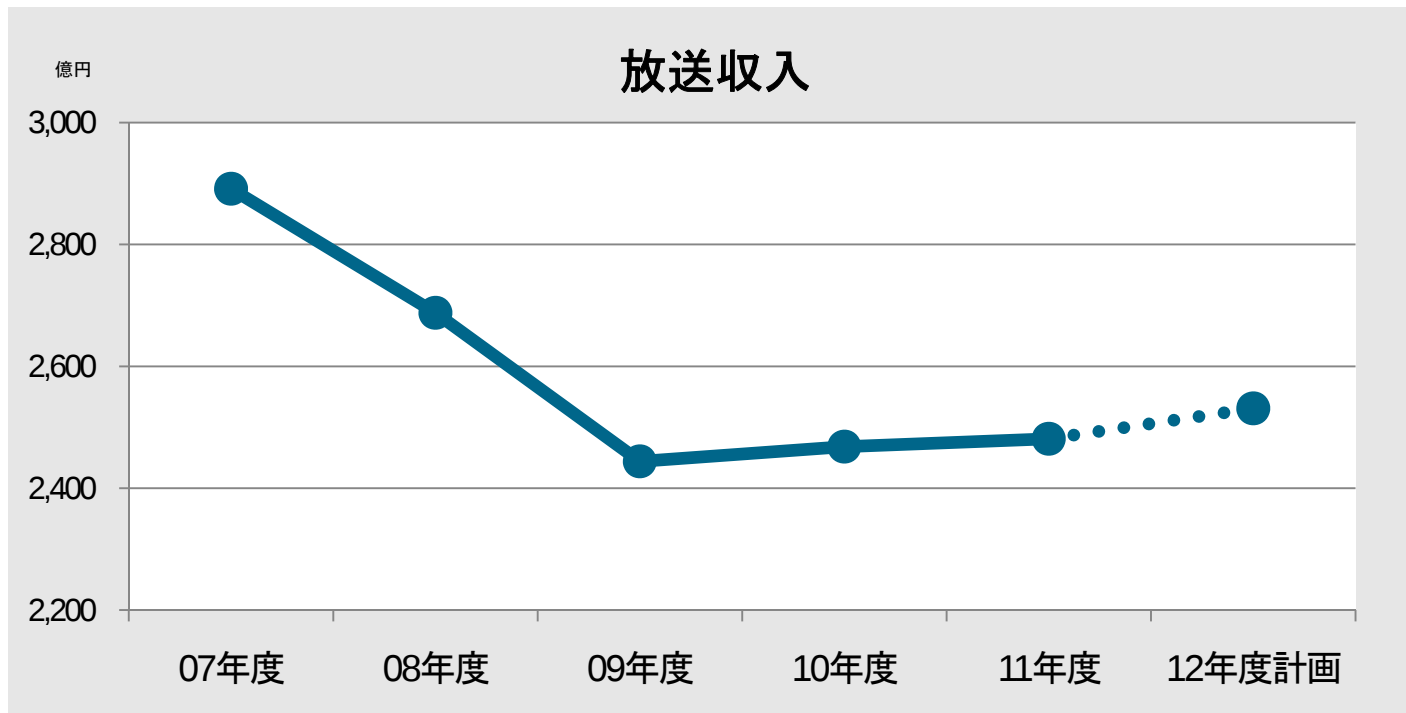
タイム収入

- ◆大型単発番組の売上也貢献し、通期で4年ぶりの増収
- ◆2012年4月改編セールスも順調

タイム収入 前年同四半期比推移



【フジテレビ】 放送収入は着実に回復



テレビ広告の価値に再評価

- ◆圧倒的な「影響力」「リーチ」「費用対効果」
 - ◆テレビ広告とインターネット広告の「共存」「相互補完」が明確化
- ＋若年層に強いフジテレビのタイムテーブル

【フジテレビ】 収益体質を大幅に強化

■放送収入の減収を乗り越え、2011年度の利益は07年度を上回る

◆制作費を計画的・段階的に引き下げ

◆その他事業の原価を縮減

◆一般管理費、減価償却費も削減

フジテレビ	2007年度	2011年度	増減
売上高	3,829億円 ➡	3,290億円	▲539億円
放送収入	2,891億円 ➡	2,481億円	▲410億円
営業費用	3,605億円 ➡	3,039億円	▲565億円
営業利益	224億円 ➡	250億円	<u>+26億円</u>



営業費用の大幅なスリム化で
確実に利益を生む体質に

■放送収入は再び増収基調へ 一層の増益を目指す

2012年度の業績予想 および各社の取組み

2012年度 業績予想

(単位: 百万円)

連結	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	307,100	7.9%	327,400	5.9%	634,500	6.9%
営業利益	16,800	20.7%	22,200	15.1%	39,000	17.5%
経常利益	18,700	24.2%	22,800	▲38.8%	41,500	▲20.7%
当期純利益	11,900	32.3%	13,200	▲74.7%	25,100	▲59.0%

※下期・通期の経常利益・当期純利益が減益になっているのは、前期の特殊要因(①営業外収益: 系列局株式取得に係る負ののれん(155億円)、②特別損益: サンケイビル株式取得に係る負ののれん等(250億円))によるものです。

フジテレビ	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売上高	165,600	3.3%	166,800	▲1.1%	332,400	1.0%
営業利益	12,600	27.6%	14,400	▲5.0%	27,000	7.8%
経常利益	12,700	23.0%	14,500	▲5.5%	27,200	6.0%
当期純利益	7,400	27.7%	8,600	29.2%	16,000	28.5%

	上期予想	下期予想	通期予想
ネットタイム	1.9%	▲2.0%	0.0%
ローカルタイム	0.4%	▲6.4%	▲3.0%
スポット	11.2%	▲0.9%	4.6%
放送収入	6.1%	▲1.7%	2.0%

(前期比)

放送事業

- ◆フジテレビ放送収入は安定した伸び、BS放送収入は一層の拡大を見込み、増収増益を計画
- ◆フジテレビの大型映画作品に期待

映像音楽事業

- ◆フジテレビの大型映画のDVDなどをリリース、増益を見込む

生活情報事業

- ◆ディノス、セシール共通ブランドなど商品力を一層強化、コールセンターの統合等で効率化、増収増益を見込む

都市開発事業（新設）

- ◆サンケイビルにおいて一部のテナントの入れ替わりにより減収
- ◆住宅事業は販売戸数拡大を見込む

フジテレビ 大幅な4月改編

平日 午後帯を生放送に

大枠の生番組を編成し、タイムテーブルの
価値向上と、全日視聴率の底上げを狙う

土曜23時台到新ドラマ枠

メインターゲットは若年層

「라이어ゲーム」「SP」等を生んだ土曜ドラマ枠から、
映画化、有料配信、MD、海外番販などマルチ展開を狙う

G・P・深夜帯も若年層向けに強化

10代・20代を中心に人気上昇中のバラエティ番組
「ピカルの定理」をプライムタイムに編成
金曜深夜には新企画枠 次の主力番組を育成



4月改編 全日帯を強化

月	火	水	木	金
9時55分				
「ノンストップ！」				
11時30分				
主婦層向け 生活情報生番組へ				
14時00分				
「知りたがり！」				
15時52分				
ドラマリピート枠から 情報生ワイド番組へ				

主要ターゲット＝若年層を強く意識
そこから家族で視聴できる番組へ

超大型ラインナップ

◆2012年度の収益へ大きな貢献を期待

라이어ゲーム -再生-	3月3日～	興行収入21億 新たな若いファンを獲得
テルマエ・ロマエ	4月28日～	興行収入32億の大ヒット (5月17日現在)
BRAVE HEARTS 海猿	7月13日	伊藤英明 加藤あい 佐藤隆太
踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望	9月7日	織田裕二 柳葉敏郎 深津絵里
ワンピース フィルム Z	12月15日	総合プロデューサー・尾田栄一郎



テルマエ・ロマエ



BRAVE HEARTS 海猿



踊る大捜査線 THE FINAL
新たなる希望



ワンピース フィルムZ

高収益の配信が成長

◆自社製作の強みを発揮、配信ラインナップは一層拡充

計30作品 自社プラットフォームと、配信パートナー11社・14サービスで

◆国内最大の映画製作会社として有料配信マーケットを牽引

ツタンカーメン展

◆開幕から2か月で、早くも40万人突破

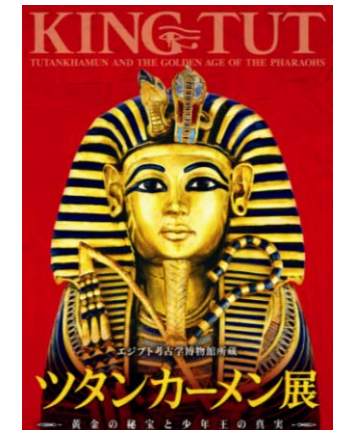
本格的な展示内容に加え、エンターテインメントを充実

オリジナル「ツタンカーメンメン」(麺)など会場での物販も好調

大阪・天保山特設ギャラリー 3月17日～6月3日

◆東京会場の前売券セールスも非常に好調

東京・上野の森美術館 8月4日～12月9日



大阪会場は連日満員に



会場で大人気の
「ツタンカーメンメン」(麺)

ブルーレイが需要喚起

- ◆市場の変化を先取りし、多くの作品をブルーレイでリリース
最新ドラマ・アニメはブルーレイが主流に

配信・ペイTVと連携

- ◆ビデオ発売と配信が連動してプロモーションを実施、相乗効果狙う
- ◆ペイTVのオリジナル番組等、地上波以外のソフトでも市場を創出

アニメ関連ビジネス

- ◆映像関連ビジネスの成長分野として期待
- ◆地上波放送からビデオ、MD、有料配信へ多角展開 海外番販も好調
一部作品は「YouTube」上で無料配信、ビデオ販売・有料配信サイトにリンク



ペイTV オリジナルドラマ
「TOKYOコントロール」
ブルーレイBOXを発売



深夜アニメ・ノイタミナ
「ギルティクラウン」
海外番販が好調

チャギントン

2012年度 本格的に展開

- ◆ 4月から近畿・東海・北海道地区へ地上波放送が拡大、人気上昇へ
- ◆ 「プラレール」シリーズが7月登場、各種の新アイテムを多数発売へ



チャギントンショップ
フジテレビ7階

ワンピース

- ◆ 劇場版映画の12月公開に向け、ライセンス収入の貢献を期待



東京スカイツリー Tree Village

販路を拡大

- ◆ ダイバーシティ東京(4月オープン)や、スカイツリーの「Tree Village」(5月オープン)でオリジナル商品を展開、売り場を拡大
- ◆ Yahoo!ショッピングと楽天市場に「フジテレビe!ショップ」を開設
店舗網の拡大・充実を積極的に行い、将来の幅広い展開を目指す



フジテレビe!ショップ

国内最大級の事業規模

テレビ局による番組有料配信の市場をリード

2007年度から2011年度の4年間で配信売上は14倍に成長

最新作の配信数で圧倒

高視聴率のドラマ、バラエティ、アニメの新作など、

配信市場で需要が強い番組コンテンツを多数ラインナップ

配信ウィンドウを拡大

2012年4月、スマートフォン、タブレット、もっとTV向けに

配信を開始、利便性を向上

自社開発作品がヒット

- ◆社内開発チームにノウハウを蓄積、オリジナル作品を企画
いち早く取り組んだ自社サイトでのゲーム運営の経験を活用

番組連携など大型作を投入

- ◆「みんなのKEIBA presents 競馬クロニクル」
番組連携で登録数30万人超のヒット
- ◆「テルマエ・ロマエ」
自社製作映画、アニメ放送、配信、パッケージ、MD等と連携

➡ 2012年度も続々と新作を開発・投入

自社開発 「ネットで」シリーズ



ネットでマングローブ



もやしもん
登録ユーザー数 65万人



テルマエ・ロマエ

フジテレビ【海外への展開】

ライセンス＋多角的展開

各国で現地版を制作・放送 番組周辺ビジネスにも参入、収益拡大へ

◆80か国で放送された「料理の鉄人」、現地版をアジアで制作

2012年1月からタイ、5月から ベトナムで放送 マレーシア、シンガポールでも予定

「料理の鉄人」現地版からのMDなど多角的な二次利用展開へ



「料理の鉄人」タイ版

◆イギリスで「たけしのコマ大数学科」現地版の制作を受注

BBC系放送局で、2012年4月 レギュラー放送を開始



「料理の鉄人」米国でのMD展開

フォーマット販売 拡大

◆海外向けオリジナル番組、フリーマントル社と共同で4作目を企画

第1弾「トータルブラックアウト」は16ヶ国で現地版を放送

◆「ほこ×たて」のフォーマット販売好調

韓国・中国で放送、米国でも契約

「ほこ×たて」
韓国版



番組コンテンツの強化

- ◆「なでしこリーグ」「F1グランプリ」をはじめ、
幅広い視聴者層に向けた本格的なスポーツ番組を拡充
- ◆アニメ「パプー＆モジーズ」制作委員会に出資
日本での放送(4月～)につづき、韓国、台湾でも放送
豊富なキャラクターを活かしたMDなど、国内外で関連ビジネスも



「F1 GRAND PRIX 2012」



「パプー＆モジーズ」
BSフジで放送
月曜～土曜・朝

媒体価値が一層向上

- ◆広告メディアとしての存在感が年々増大し、
大手スポンサーの大型出稿が増加
- ◆2012年度も、タイム・スポットともに大幅増収へ



「BSフジLIVE プライムニュース」

商品力&積極的販促

- ◆2012年度も増収増益を計画
- ◆高機能衣料など自社開発商品の魅力をアップ
- ◆積極的な販売促進策を拡大、テレビCMも引き続き実施
- ◆ディノス・セシール共同開発ブランド「フィラメージュ」を展開



ディノスとセシールの
共同開発ブランド
「フィラメージュ」

共通機能の統合を拡大

- ◆ディノスとセシールのコールセンターを統合
- ◆商品・カタログの発送、物流の共同運用拡大

➡ 継続的なコスト削減効果を期待

安定した業績貢献

- ◆2012年度はフジテレビ映画など大型作品のリリースを計画
- ◆厳格なコストコントロールを継続

優良ソフトの獲得

将来の収益の源泉＝ソフトの獲得を強化

- ◆新作アニメ作品の獲得
- ◆海外コンテンツの制作支援ファンドに出資
- ◆国内外のアーティストの発掘・プロデュース



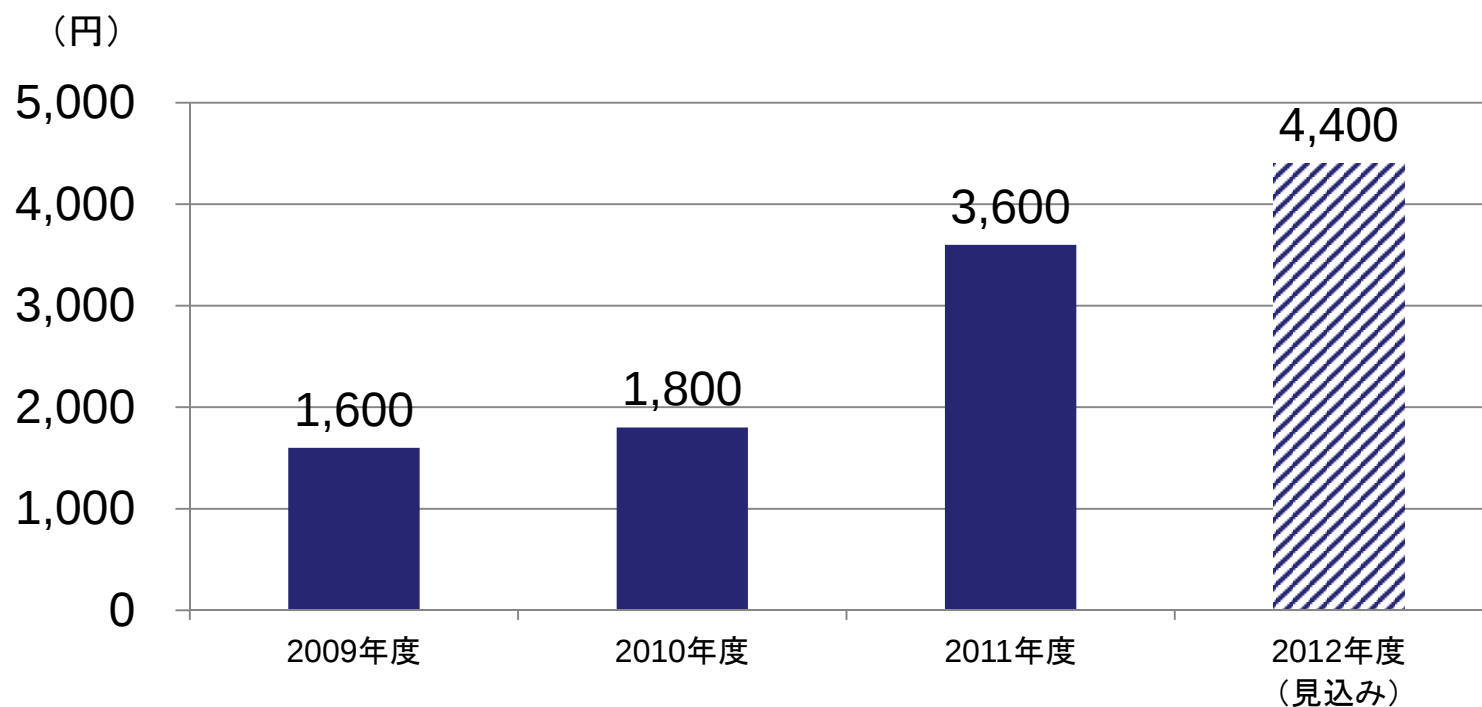
チャン・グンソク
1stアルバム
(5月30日リリース)

2011年度・2012年度 大幅増配へ

■ 2011年度 期末配当 2,800円 年間配当 3,600円

■ 2012年度 年間配当 4,400円(見込み)

【配当方針】 目標連結配当性向 40%



参考資料

セグメント別業績【通期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2011年度	2010年度	増減率	2011年度	2010年度	増減率
放送	355,215	347,456	2.2%	27,166	22,145	22.7%
制作	44,611	44,634	▲0.1%	2,259	1,826	23.7%
映像音楽	59,547	66,932	▲11.0%	2,583	2,768	▲6.7%
生活情報	134,744	127,411	5.8%	1,440	472	205.2%
広告	39,562	42,161	▲6.2%	135	▲80	-
その他	27,160	27,333	▲0.6%	769	685	12.2%
調整額	▲67,197	▲66,257	-	▲1,151	▲1,466	-
連結	593,645	589,671	0.7%	33,204	26,351	26.0%

《主な連結会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ	生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール	広告	クオラス、協同広告
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版	その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績【第4四半期】

(単位: 百万円)

	売上高			営業利益		
	2012年 1月～3月	2011年 1月～3月	増減率	2012年 1月～3月	2011年 1月～3月	増減率
放送	87,444	82,669	5.8%	5,371	4,053	32.5%
制作	12,055	10,810	11.5%	609	288	111.1%
映像音楽	14,753	18,801	▲21.5%	47	210	▲77.5%
生活情報	30,354	28,944	4.9%	▲1,312	▲1,599	-
広告	10,937	10,682	2.4%	82	▲2	-
その他	6,743	7,107	▲5.1%	103	237	▲56.4%
調整額	▲17,164	▲17,264	-	▲329	▲508	-
連結	145,124	141,749	2.4%	4,570	2,679	70.6%

フジテレビ 売上高・営業費用内訳

(単位:百万円)

	第4四半期			通期		
	2012年 1月～3月	2011年 1月～3月	増減率	2011年度	2010年度	増減率
放送事業収入	70,369	68,035	3.4%	280,501	278,490	0.7%
放送収入	61,996	60,122	3.1%	248,105	246,810	0.5%
その他放送事業収入	8,373	7,912	5.8%	32,395	31,680	2.3%
その他事業収入	10,154	9,867	2.9%	48,512	49,774	▲2.5%
売上高合計	80,524	77,903	3.4%	329,013	328,264	0.2%
放送事業原価	43,490	43,378	0.3%	177,281	179,872	▲1.4%
その他事業原価	9,403	9,254	1.6%	41,742	42,600	▲2.0%
販売費・一般管理費	22,730	21,126	7.6%	84,950	83,550	1.7%
営業利益	4,900	4,143	18.3%	25,039	22,241	12.6%

フジテレビ タイム／スポット収入

	2012年1月～3月	前期比増減率	2011年度通期	前期比増減率	(単位:百万円)
ネット	27,515	4.8%	112,553	0.5%	
ローカル	3,889	2.8%	15,986	3.1%	
タイム収入	31,405	4.5%	128,540	0.9%	
	2012年1月～3月	前期比増減率	2011年度通期	前期比増減率	
スポット収入	30,590	1.7%	119,564	0.2%	

2012年1月～3月 ※管理ベース

業種	シェア	前年シェア	前年比	業種	シェア	前年シェア	前年比
外食・各種サービス	11.2%	9.3%	23.0%	金融・保険	4.7%	2.3%	115.3%
通信	10.9%	9.2%	21.2%	衣料・身回品・雑貨	4.7%	3.5%	38.1%
化粧品・トイレタリー	9.8%	8.4%	20.2%	医薬品・医療用品	4.7%	4.2%	14.6%
エンタテインメント	9.5%	8.5%	15.2%	事務・精密・光学機器	4.3%	2.7%	66.2%
自動車・関連品	9.1%	8.8%	5.8%	アルコール飲料	3.6%	2.7%	34.4%
食品	6.2%	5.9%	8.4%	交通・レジャー・観光	2.9%	2.7%	11.1%
非アルコール飲料	5.9%	3.2%	89.2%	家電・AV機器	1.3%	1.3%	4.1%
流通・小売業	5.1%	4.2%	26.4%	エネルギー・機械	0.4%	1.3%	▲70.0%
不動産・住宅設備	4.9%	3.6%	38.3%	その他	0.9%	18.2%	▲95.1%

フジテレビ 番組制作費

(単位: 億円)

	2011年度	2010年度	増減率
第1四半期	241	258	▲6.5%
第2四半期	240	241	▲0.5%
上期	482	500	▲3.6%
第3四半期	266	249	6.9%
第4四半期	243	235	3.3%
下期	510	485	5.2%
通期	993	985	0.7%

※自社制作番組及び
購入番組の直接費

フジテレビ 非広告事業の状況

■ その他放送事業

(単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減
その他放送事業収入	32,395	31,680	715
番組販売	18,335	18,025	310
CS放送・その他	14,060	13,654	405

■ その他事業

(単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減
その他事業収入	48,512	49,774	▲1,262
イベント	17,095	12,522	4,573
映画	8,599	12,560	▲3,961
ビデオ	6,745	8,663	▲1,917
MD	6,921	6,694	226
デジタル	4,206	3,923	282
その他	4,942	5,408	▲465

□ ニッポン放送(放送事業) (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	18,837	19,209	▲1.9%
営業利益	22	▲181	-
経常利益	152	▲247	-
当期純利益	▲466	▲2,403	-

□ ポニーキャニオン(映像音楽事業) (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	47,234	54,986	▲14.1%
営業利益	2,694	2,888	▲6.7%
経常利益	2,843	3,075	▲7.6%
当期純利益	1,610	1,731	▲7.0%

□ BSフジ(放送事業) (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	9,587	7,477	28.2%
営業利益	1,855	908	104.4%
経常利益	1,887	926	103.8%
当期純利益	2,436	921	164.4%

※2010年度は持分法適用会社であるため参考値

□ ディノス(生活情報事業) (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	59,767	54,315	10.0%
営業利益	1,340	393	240.3%
経常利益	1,455	397	266.4%
当期純利益	1,815	330	449.3%

□ クオラス(広告事業) (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	36,519	34,512	5.8%
営業利益	20	31	▲34.6%
経常利益	41	35	16.9%
当期純利益	▲86	▲297	-

□ セシール(生活情報事業) ※連結 (単位:百万円)

	2011年度	2010年度	増減率
売上高	59,255	56,152	5.5%
営業利益	935	555	68.5%
経常利益	1,048	651	60.9%
当期純利益	805	310	159.4%

セグメント別業績予想【上期】

	売上高				営業利益				(単位: 億円)
	2012年度 上期予想	2011年度 上期	増減額	増減率	2012年度 上期予想	2011年度 上期	増減額	増減率	
放送	1,774	1,722	51	3.0%	134	109	24	22.2%	
制作	232	213	18	8.5%	7	8	▲1	▲18.8%	
映像音楽	287	297	▲10	▲3.4%	12	17	▲5	▲32.7%	
生活情報	653	635	17	2.7%	4	3	0	10.0%	
広告	187	185	1	0.9%	0	0	0	-	
都市開発	156	-	-	-	17	-	-	-	
その他	131	130	0	0.1%	2	4	▲2	▲52.1%	
調整額	▲349	▲339	-	-	▲8	▲4	-	-	
連結	3,071	2,846	224	7.9%	168	139	28	20.7%	

《主な連結会社》 2012年4月から

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ	広告	クオラス、協同広告
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール	都市開発	サンケイビル
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版	その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト
生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社		

セグメント別業績予想【通期】

(単位: 億円)

	売上高				営業利益			
	2012年度 通期予想	2011年度 通期	増減額	増減率	2012年度 通期予想	2011年度 通期	増減額	増減率
放送	3,567	3,552	14	0.4%	288	271	16	6.0%
制作	460	446	13	3.1%	16	22	▲6	▲29.2%
映像音楽	595	595	0	▲0.1%	28	25	2	8.4%
生活情報	1,375	1,347	27	2.0%	22	14	7	52.7%
広告	389	395	▲6	▲1.7%	1	1	0	▲26.4%
都市開発	390	-	-	-	44	-	-	-
その他	265	271	▲6	▲2.4%	5	7	▲2	▲35.0%
調整額	▲696	▲671	-	-	▲14	▲11	-	-
連結	6,345	5,936	408	6.9%	390	332	57	17.5%

設備投資計画

(単位:億円)

設備投資計画		2010年度 通期 (実績)	2011年度 通期 (実績)	2012年度 通期 (予定)	2013年度 通期 (予定)
設備投資額	連結	135	112	211	196
	フジテレビ	104	63	89	88
	都市開発事業	※ 8	※ 85	74	25
	フジ・メディアHD	0	1	5	4
減価償却費	連結	227	216	226	226
	フジテレビ	145	131	116	114
	都市開発事業	※ 38	※ 37	38	38
	フジ・メディアHD	47	46	37	26

※都市開発事業の2010年度、2011年度実績は参考値

- P.23 : ©2012「テルマエ・ロマエ」製作委員会
- P.23 : ©2012 フジテレビジョン ROBOT ポニーキャニオン 東宝 小学館 エー・チーム FNS27社
- P.23 : ©2012 フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー
- P.23 : ©尾田栄一郎/2012「ワンピース」製作委員会
- P.25 : ©2011 フジテレビジョン
- P.25 : ©ギルティクラウン製作委員会
- P.26 : ©Ludorum/フジテレビ
- P.28 : ©Fuji Television Network, Inc. All rights reserved.
- P.28 : ©石川雅之・講談社/「もやしもん リターンズ」製作委員会
- P.28 : ©ヤマザキマリ/PUBLISHED BY ENTERBRAIN, INC.
©2012「テルマエ・ロマエ」製作委員会
- P.30 : ©金子博
- P.30 : ©SEGA TOYS・DAEWON MEDIA・BS FUJI All rights reserved.